

## ちば里山カレッジ実施報告書 (4)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	<p>第4回 講義 「森林・里山についての知識の習得 1」</p> <p>講義：「行政からみた里山ボランティア活動」</p> <p>講義：「千葉県の森林と里山の特徴」</p> <p>講義：「千葉県の津波災害と再生」</p> <p>講義：「里山の管理技術 ①広葉樹林」</p> <p>里山活動団体の紹介</p> <p>「一緒に里山ボランティア活動をしませんか！」</p>
日時	平成 25 年 10 月 26 日 (土) 12:30～17:30
場所	ちば里山センター 会議室
出席者	<p>受講生 35 名</p> <p>講 師：千葉県森林課森林政策室 副主幹 澤口晶子  千葉県森林組合連合会 専務理事 梅山雄二  千葉県森林研究所 主席研究員 福島成樹</p> <p>活動団体：市原市「おとずれ山の会」高橋和靖・「里山よくし隊」鈴木幹夫  君津市「千年の森を考える会」眞鍋昌義  千葉市「谷当グリーンクラブ」金親博策</p>
内容	<p>① 「行政からみた里山ボランティア活動」澤口晶子講師  「千葉県の森林と里山条例」と題し千葉県の森林・里山条例のもとで行われてきた取り組み・里山をとりまく現状と課題・県民参加の里山活動促進等の講義があった。</p> <p>② 「千葉県の津波災害と再生」梅山雄二講師  初めに東日本大震災の際千葉県に押し寄せた津波の様子のビデオが映され、津波の破壊力と身近な被害を認識した。かねてより県有保安林の病虫害防止等整備をしていたが今回の東日本大震災による津波被害を踏まえ、病虫害、台風や津波にも強い海岸県有保安林の整備・育成を図る旨の再生指標の説明があった。</p> <p>③ 「千葉県の森林と里山の特徴」・「里山の管理技術 ①広葉樹林」福島成樹講師  千葉県の森林についての説明があり、人工林と天然林・手入れが放棄されて常緑樹化した森林の生態系への危惧・里山活動における問題点等の講義があった。  最後に「里山活動で何をしたいか？ 里山活動で何ができるか？ 里山活動でどんなことをすればよいか？」と問いかけがあった。  また、広葉樹林の管理について“広葉樹林の多様性を生かした利用目的を設定し、都市部に残る貴重なみどりを、地域の中でどんな形で活用するか考える”ための講義があった。</p> <p>④ 引き続き活動団体による活動状況の紹介があり、それぞれの特徴ある様子が知らされた。</p>
備考	<p>台風 27 号の接近が心配されたので、講義開始時刻を遅らせて、12時30分から始めた。緊急連絡網による連絡だったが、受講生がほとんど出席。講義を真剣に且つ楽しそうに聞いている様子が伝わってきた。</p>

添付資料（写真）



講義開始



① 澤口講師



梅山裕二講師



福島茂樹講師



ちば千年の森を守る会 眞鍋代表



SaToYaMa よくし隊 鈴木隊長



おとずれ山の会 高橋副代表



谷当グリーンクラブ 金親代表

